

自治体とは初めて 災害時応援協定を締結

町では、今まで町内の複数企業、各種団体と災害時における応援協定を締結してきましたが、自治体間での相互応援協定は締結を行っていない状況でした。しかし、今回の東日本大震災のような大規模災害に対応するには、一自治体の力では限界があり、自治体間の連携・協力が不可欠であることから、今回、8月30日から9月5日までの防災週間に併せ、次の自治体と「災害時の応援に関する協定書」の締結を行いました。

行なわれていること。

② 九十九里町は、沿岸部に位置することから、五霞町で懸念されるような大規模河川の増水による水害を、五霞町と同じ時に被災する可能性は低く、九十九里町からの応援が期待できること。

③ 五霞町においては、地震に伴う津波による被災のおそれがないことから、九十九里町の津波による被災時の応援が可能なこと。

九十九里町の概要

太平洋、九十九里浜のほぼ中央に位置し、人口18,170人(7,317世帯)で、行政面積23.72平方キロメートル。

千葉県 野田市

茨城県 境町

協定締結

(締結日 9月30日)

○主な内容

- (1) 食糧及び生活必需品の提供
- (2) 救援及び応急復旧等に必要な職員の派遣
- (3) 避難場所及び避難施設の提供
- (4) ボランティアのあつ旋など

※3市町の協定では、隣接している地理的条件を活かし、ボランティアのあつ旋なども明記されています。

○協定締結理由

① 利根川、江戸川を挟んで隣接する五霞町、境町及び野田市の3市町では、現在、「川のまちネットワーク」事業を進めており、今年度の最初の事業として、住民の防災意識の高揚と3市町での地域連携並びに相互協力体制の構築を進めていること。

② 過去の水害で河川が増水し、片方の岸が決壊した際も、対岸は決壊していないことから、対岸市町からの応援が期待できること。

野田市の概要

江戸川の東側、利根川の西側に位置し、人口157,138人(63,107世帯)で、行政面積103.54平方キロメートル。

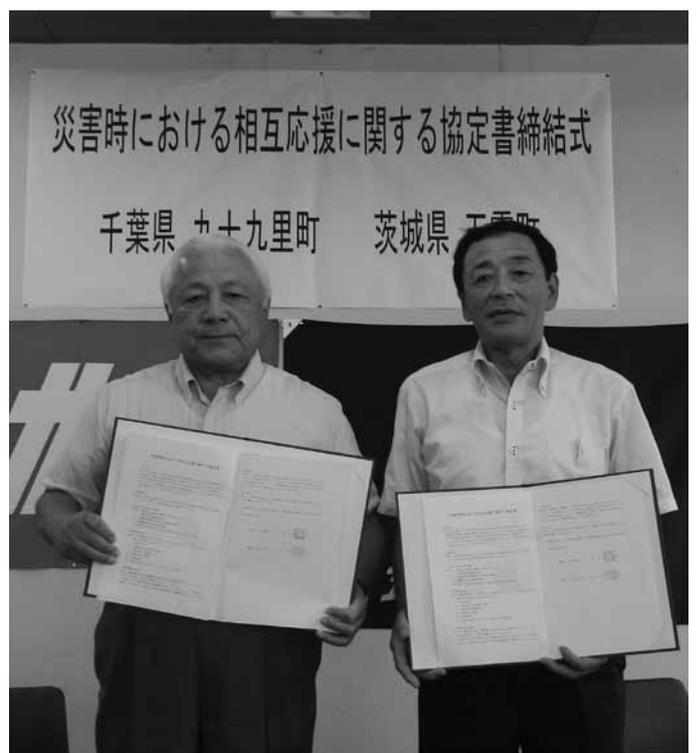
境町の概要

利根川の東側に位置し、人口25,270人(7,990世帯)で、行政面積46.58平方キロメートル。

※人口、世帯数は、8月1日現在(出典：九十九里町、野田市、境町ホームページから)



境町 野村町長 五霞町 染谷町長 野田市 根本市長



九十九里町 川島町長 五霞町 染谷町長